

令和5年度（2023年度）
第4回 南区まちづくり懇話会

～視察先概要～



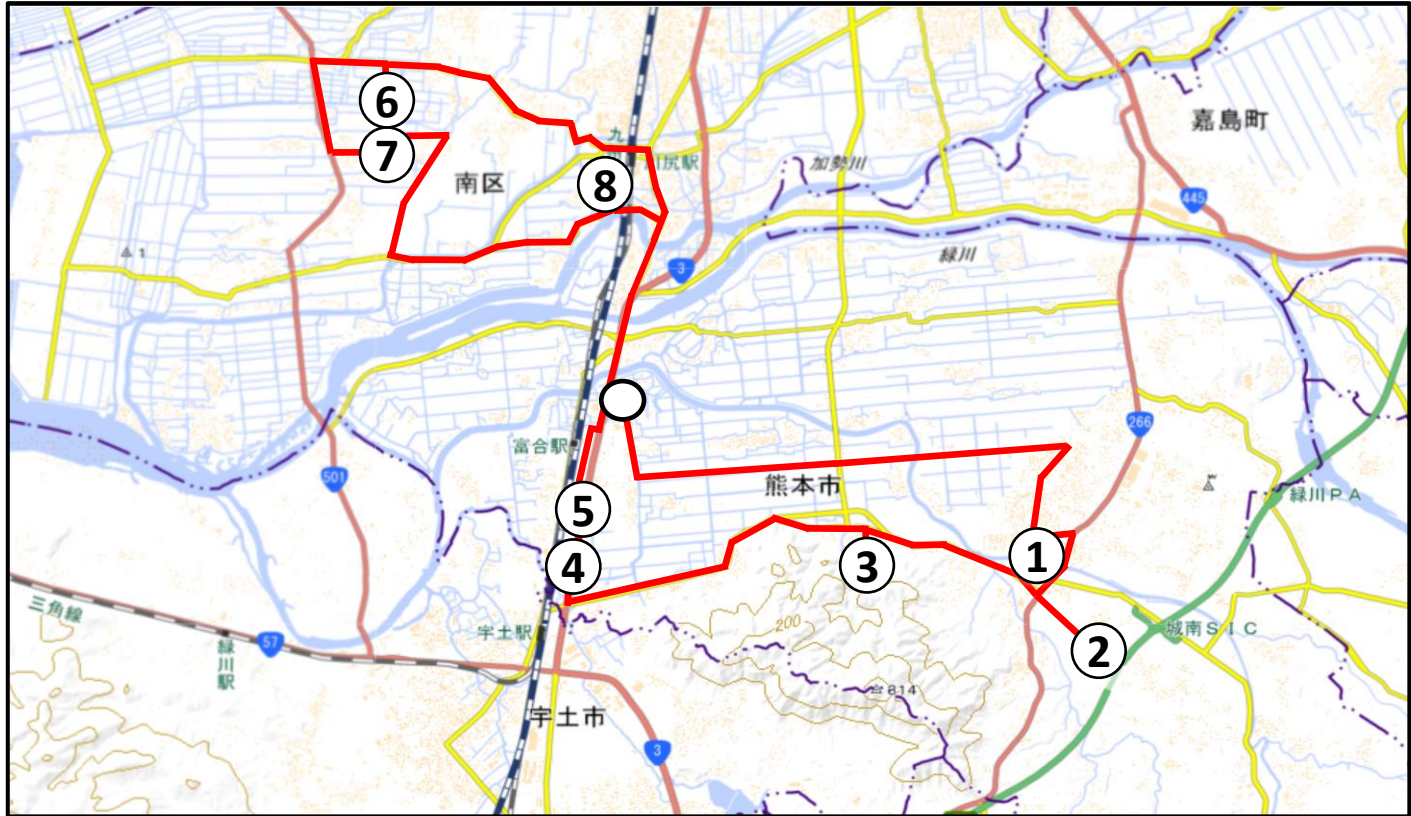
令和5年12月22日（金）

13：00 南区役所集合

13：05 出発



視察ルート・スケジュール



- ①下田のイチョウ ②塚原歴史民俗資料館 ③六殿神社 ④井樋堰
 ⑤JR九州熊本総合車両所 ⑥JA熊本市野菜選果施設 ⑦新開大神宮
 ⑧熊本藩川尻米蔵跡

◆視察スケジュール

順路	場所	時間	移動時間
集合	南区役所	13:00	
出発	南区役所	13:05	
①	【城南】下田のイチョウ 車窓から眺める	13:20	15分
②	【城南】塚原歴史民俗資料館 視察25分	13:30 13:55	10分
③	【富合】六殿神社 視察15分	14:10 14:25	15分
④	【富合】井樋堰 車窓から眺める	14:35	10分
⑤	【富合】JR九州熊本総合車両所 車窓から眺める	14:40	5分
⑥	【飽田】JA熊本市野菜選果施設 視察25分	14:55 15:20	15分
⑦	【天明】新開大神宮 視察15分	15:25 15:40	5分
⑧	【川尻】熊本藩川尻米蔵跡 視察25分	15:55 16:20	15分
⑨	【川尻】熊本藩川尻米蔵跡出発 視察の振返り（アンケート配付）	16:20	
到着	南区役所 解散	16:30	10分



しもだ

① 下田のイチョウ

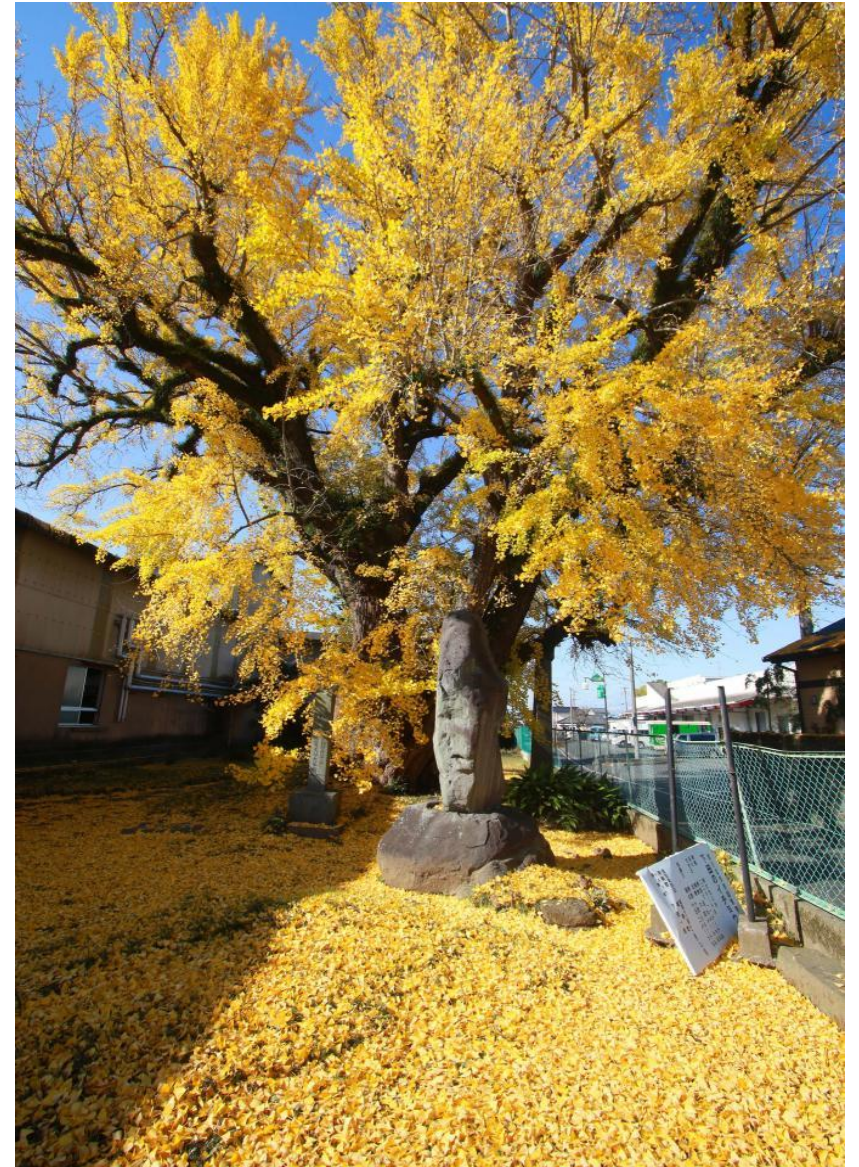
(国指定天然記念物)

城南町の下田家の庭にそびえるイチョウは、高さ22メートル、幹まわり9メートルで、県下最大級を誇る大イチョウです。

「下田家旧記」によると天文年間(1532～1554)にはすでにこの木が存在していたことが記されており、樹齢は700年近いといわれています。

根元の石碑には「世を重ね恵みに会いて栄えゆく
銀杏の末は千枝八千枝」という下田理平の和歌が
刻まれています。

秋の黄葉はまさに絶景で、毎年紅葉の時期にはラ
イトアップもされています。





つかわれきしみんぞくしりょうかん

② 塚原歴史民俗資料館



出典：熊本市塚原民俗資料館ホームページ

館内には、塚原古墳群の出土資料をはじめ、城南町時代に収集された考古・歴史・民俗分野の資料約6,000点を収蔵展示しています。

主な展示物には、重要文化財の「台付舟形土器」、千々屋寺の「馬頭観音立像」（県指定重要文化財）、史跡阿高・黒橋貝塚、御領貝塚出土の資料、県内最古の旧石器（沈目遺跡）、貴重な弥生時代の青銅器（新御堂遺跡）、県内最古の寺院跡陳内廃寺の出土瓦等があります。

また考古学史を語る上で重要な小林久雄氏収集の資料（通称：小林久雄 コレクション）を収蔵展示しています。



ろくでんじんじゃろうもん

③ 六殿神社楼門

(国指定重要文化財)

天文18年(1549年)に宇土城主名和顕忠(なわあきただ)が建てたもので、室町時代の典型的な建築様式で三間一戸楼門という形式の門になります。

釘を1本も使用しないことから、釘なし楼門とも呼ばれ、入母屋造(いりもやづくり)のかやぶき2階建てです。丸柱など木の部分はすべて朱塗りで、全体的に繊細さと華麗さを表現している巧みで複雑な手法や装飾は、室町時代の代表的な建造物となっており、明治40年に熊本県で最初の国指定重要文化財に指定されました。



出典:熊本市ホームページ



崩壊前の井樋堰



復旧した井樋堰

出典：熊本市ホームページ

いびせき ④ 井樋堰

慶長13年（1608年）、加藤清正は、緑川の治水かんがい工事を進める一方、荒野地の開墾にも着手し、海水が農業用水に流れ込まないように上げ潮には閉じる「観音開き」の水門として、井樋橋を建設しました。

江戸時代から平成28年まで、現役の土木遺産として、水門機能を果たしていましたが、熊本地震により崩壊しました。

その後崩落した石の一部を上流の川底に敷設したり、本体の部材を蓮台寺文化財資料室敷地内に保管しました。現在の井樋堰は、平成30年度に復旧されたものです。



じえいあーるきゅうしゅうくまもとそうごうしゃりょうしょ

⑤ JR九州熊本総合車両所

JR九州熊本総合車両所は、平成23年の九州新幹線博多駅-新八代駅間の開通に向けて、平成22年に設置されました。

新幹線車両の留置、整備、点検を行う施設の他に車両の解体等を伴う大規模な検査、修繕を行う工場機能を持つ施設です。

この車両基地は、博多総合車両所、仙台の新幹線総合車両センターに次いで日本で3番目の新幹線の総合車両基地となります。

毎年秋には「新幹線フェスタin熊本」が開催され、多くの鉄道ファンや親子連れで賑います。



出典：熊本市観光ガイド



じえいえーくまもとしやさいせんかしせつ

⑥ JA熊本市野菜選果施設



出典：南区総務企画課

西南部・東部地区に分散している天明・飽田・西部・東部の農産物を集約し、均質化とコスト削減を図ることを目的として、JA熊本市野菜選果施設が設置されました。

当施設では、ナス・メロン・トマト等の共同選果を行い、きゅうり・れんこん・キャベツ等を生産者が直接持ち込まれるなど多種多様な品物がある野菜選果施設です。



しんかいだいじんぐう

⑦ 新開大神宮

新開大神宮には、天照大神（あまてらすお
おかみ）や豊受大神（とようけのおおかみ）と
いった伊勢神宮の神々が祀られています。

1444年に初代宮司にご託宣が下り、1445
年鎮座。お社に神様が宿ったと言われていま
す。

昭和に入ると「神風連」調査研究のため小
説家三島由紀夫が参拝し、代表作「豊饒の
海」を出版し、第2巻「奔馬」には神風連史
話を記しています。



出典：南区総務企画課



くまもとはんかわしりこめぐらあと

⑧ 熊本藩川尻米蔵跡

(国指定史跡)



出典：南区総務企画課

熊本藩川尻米蔵跡は、江戸時代に熊本藩の年貢米の集積・搬出の拠点となった場所です。

川尻は中世の頃から物資の流通や貿易の水運の拠点として機能していました。近世に入って加藤家が肥後国に入国すると河港整備が行われ、細川家の時代には班の奉行所や御茶屋、御蔵などが設置されました。

当施設は蔵跡と船着場跡が揃って現存している、全国的にみても貴重な場所で、近世の物流・水運の様子を知るうえで大変重要であるとして、平成22年8月に国指定史跡となりました。



長時間お疲れさまでした。

今後の南区まちづくりの参考とさせていただきますので、別添の「参加者アンケート」にご協力いただきますようお願いいたします。

お手数ですが、アンケート用紙は返信用封筒にて後日提出をお願いいたします。